



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 電響社
 コード番号 8144 URL <http://www.denkyosha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤野 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 辻 正秀
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6644-6711

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,149	△0.7	517	△7.4	1,220	6.7	686	△2.9
25年3月期第3四半期	33,389	△0.8	558	△49.0	1,144	△31.9	707	△25.2

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 946百万円 (61.6%) 25年3月期第3四半期 585百万円 (△25.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	54.76	—
25年3月期第3四半期	56.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,420	22,538	67.4
25年3月期	29,389	21,844	74.3

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 22,538百万円 25年3月期 21,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	3.8	500	14.7	1,400	11.1	850	12.6	67.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	13,330,042 株	25年3月期	13,330,042 株
26年3月期3Q	789,717 株	25年3月期	786,813 株
26年3月期3Q	12,542,200 株	25年3月期3Q	12,546,459 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による大規模な金融緩和策等により円安と株高が進行した結果、輸出関連企業を中心に業績が回復し、個人消費においては、高額商品に対する購買意欲が高まるなど、緩やかに回復の兆しが見られました。一方、平成26年4月より予定されている消費税率の改定に伴う家計負担の増加懸念や世帯所得の伸び悩み等により、生活必需品に対する節約志向は依然として根強く、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である専門量販店等におきましては、業種業態を超えた価格競争がますます激化しており、また、当社グループ各社におきましても、同業他社との価格競争が一段と激しさを増し大変厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループにおきましては、消費者が求めている商品の発掘と取引先への提案、ならびにオリジナル商品の開発等を強化してまいりました。

平成25年4月には、家電商品の修理業務等を専門とするリード株式会社を当社グループに経営統合し、家電商品卸販売事業の競争力強化を図ってまいりました。

また、当社と連結子会社の大和無線電器株式会社、梶原産業株式会社の3社共催による合同商談会も引き続き実施するなど、積極的な営業施策も進めてまいりました。

このような状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、331億4千9百万円で前年同期比0.7%の減収となりました。

利益面におきましては、売上高の減少等、営業上での厳しさがあったものの、営業外収支の改善等により、経常利益は、12億2千万円で前年同期比6.7%の増益となりました。四半期純利益は、固定資産に係る減損損失1億円を特別損失として計上したこと等の影響もあり、6億8千6百万円で前年同期比2.9%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比40億3千1百万円増加し、334億2千万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金、電子記録債権の売上債権が25億3千万円、たな卸資産が12億6千5百万円増加したことなどにより、流動資産全体で38億2千8百万円増加したこと、また、投資その他の資産の中で、投資有価証券が2億6百万円増加した一方で、貸付固定資産が1億7百万円減少したこと等により、固定資産全体で2億2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末比33億3千7百万円増加し、108億8千2百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が26億3百万円、短期借入金が8億5千万円増加したことなどにより、流動負債で32億6千5百万円増加、また、固定負債で7千2百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前連結会計年度末比6億9千3百万円増加し、225億3千8百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が4億3千5百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2億5千9百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成25年4月1日付でリード株式会社の全株式を取得し完全子会社といたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,999	4,063
受取手形及び売掛金	8,528	10,592
電子記録債権	—	467
たな卸資産	2,430	3,696
その他	1,034	998
貸倒引当金	△8	△3
流動資産合計	15,984	19,812
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	415	404
土地	1,871	1,871
その他（純額）	46	67
有形固定資産合計	2,332	2,343
無形固定資産		
のれん	233	223
その他	122	195
無形固定資産合計	356	419
投資その他の資産		
投資有価証券	2,922	3,129
賃貸固定資産（純額）	3,875	3,767
長期預金	3,382	3,416
その他	536	532
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,715	10,844
固定資産合計	13,404	13,607
資産合計	29,389	33,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,226	6,829
短期借入金	1,450	2,300
1年内返済予定の長期借入金	237	76
未払法人税等	116	220
引当金	161	64
その他	464	432
流動負債合計	6,657	9,923
固定負債		
長期借入金	16	—
退職給付引当金	305	281
負ののれん	44	11
その他	521	666
固定負債合計	886	959
負債合計	7,544	10,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	16,771	17,207
自己株式	△432	△434
株主資本合計	21,544	21,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	559
その他の包括利益累計額合計	300	559
純資産合計	21,844	22,538
負債純資産合計	29,389	33,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	33,389	33,149
売上原価	28,425	28,240
売上総利益	4,963	4,908
販売費及び一般管理費	4,404	4,391
営業利益	558	517
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	45	50
仕入割引	523	538
投資不動産賃貸料	203	222
負ののれん償却額	33	33
その他	90	139
営業外収益合計	914	1,004
営業外費用		
支払利息	9	6
売上割引	199	208
不動産賃貸原価	81	72
その他	37	12
営業外費用合計	328	301
経常利益	1,144	1,220
特別損失		
固定資産除却損	—	7
減損損失	—	100
特別損失合計	—	107
税金等調整前四半期純利益	1,144	1,113
法人税等	437	426
少数株主損益調整前四半期純利益	707	686
四半期純利益	707	686

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	707	686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	259
その他の包括利益合計	△121	259
四半期包括利益	585	946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585	946
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。